

2022年12月21日

芙蓉総合リース株式会社向け融資「ポジティブ・インパクトファイナンス」について
～社会課題の解決に向けた取組みを後押し～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、芙蓉総合リース株式会社を借入人、株式会社みずほ銀行をアレンジャーとするシンジケーション方式による「ポジティブ・インパクトファイナンス」（以下「PIF」）に融資を行ないましたので、お知らせします。

PIFは、国連環境計画・金融イニシアティブが提唱したポジティブ・インパクト金融原則^(注1)に即したファイナンス手法で、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、企業活動を支援するとともに、SDGs達成への貢献を評価指標として活用し、情報開示することが特徴です。

本融資は、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社が独自に開発したインパクト評価フレームワークに基づき、事前に設定したKPI^(注2)への社会的インパクトを定量的に評価し、ポジティブなインパクトを創出する取組みを支援するものです。当該評価のポジティブ・インパクト金融原則への適合性等^(注3)については、第三者意見^(注4)を株式会社日本格付研究所より取得しています。

当社は「確かな安心を、いつまでも」という経営理念のもと、ESG投融資を通じてグローバルな環境・社会課題の解決と国内地域経済活性化等の地域貢献により、社会的価値を創出することを推進しています。引き続き、責任ある機関投資家として、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【案件の概要】

借入人	芙蓉総合リース株式会社
契約締結日	2022年12月21日
KPI	【別紙】参照
対応するSDGs目標	

(注1) 国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のポジティブ・インパクト・ワーキンググループが2017年に発表したSDGs達成に向けた金融の共通枠組みであり、持続可能な開発の3側面（環境・社会・経済）について、ポジティブ・ネガティブの両面からインパクト評価を行なう包括的内容

(注2) Key Performance Indicator（重要業績評価指標）

(注3) 国連環境計画・金融イニシアティブが策定した「ポジティブ・インパクト金融原則」および「資金用途を限定しない事業会社向け金融商品のモデル・フレームワーク」への適合性、環境省のESG金融ハイレベル・パネル設置要綱第2項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースが纏めた「インパクトファイナンスの基本的考え方」との整合性

(注4) 株式会社日本格付研究所（JCR）による評価レポート
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/sustainability/topic/>

【ご照会先】
広報部 広報グループ TEL 03-3283-8054

【別紙】 K P I (Key Performance Indicator)

インパクト	K P I	目標・方針	S D G s
廃棄物、資源効率・安全性	返却物件のリユース・リサイクル率	2026年度：100%	 
	廃プラスチック（返却物件由来）のメテリアル/ケミカルリサイクル率	2026年度：100%	
気候	CO2削減量（Scope 1, 2）（2020年度比）	2024年度：30% 2030年度：カーボンニュートラル	 
	CO2削減貢献量	2026年度：50万t-CO2/年	
	保有台数におけるEV・FCV車比率	2026年度：30%	
	目標を掲げ事業消費電力の再エネ化を推進(同社グループ)	2024年：50% 2030年：100%	
	脱炭素推進ファイナンスの取扱金額（2019年10月以降累計）	2026年度：100億円（5年間累計）	
	再エネ発電容量	2026年度：1,000MW-dc	
	脱炭素推進に向けた資金投下額	2026年度：3,000億円（5年間累計）	
雇用	お客様の業務量削減時間（BPO/ICTサービスを通じた新たな価値創造時間創出）	2026年度：+100万時間（2021年度比）	 
	人材育成関連費用（単体）	2026年度：300%（2021年度比）	
	有給休暇取得率（単体）	2026年度：90%	
包括的で健全な経済	女性管理職比率（単体）	2026年度：35%	 
健康・衛生	高齢者介護施設の新規提供室数	2026年度：1,000室（5年間累計）	 
	医療・福祉マーケットにおける経営支援に関するファイナンス	2026年度：560億円	

以上